

大阪透析研究会抄録の記載要項

大阪透析研究会

1. 本文の書き方

「研究報告」では、目的、対象と方法、結果、結論などと項目建てをして記載する。「目的」などの項目名は、改行して1字空けずに【目的】などと括弧を使うか、あるいは、改行して1字空け、項目の後に「:(コロン)」を入れて記載する。

「症例報告」では、最初に「症例。〇〇歳男(女)性。」と書き、その後、主訴、病歴、考案、結論などを記載する。「方法」などの項目を建てる時は、改行して1字空けずに【方法】などと括弧を使うか、あるいは、改行して1字空け、項目の後に「:(コロン)」を入れて記載する。

2. 記載例

・ 例1 (研究報告)

透析膜・・・・・・・・・・の影響

吉田 充¹、富永真弓²、岡 始³、・・・・・・・・

大阪透析病院泌尿器科¹、同 外科²、日本診療所看護部³、・・・・

【目的】透析膜が・・・・・・・・・・する影響を
解明することを目的とした。

【対象と方法】安定した維持透析患者 25 例（男性 10 例、女性 15 例）と健常成人 35 名を
対象として、・・・・・・・・・・。血液中の・・・・は・・・・を用いて測定
し、・・・・・・・・

【結果】今回の透析膜は・・・・・・・・・・しかし、
これらの・・・・・・・・

【結論】・・・・・・・・

・ 例2 (症例報告)

腎・・・・を合併し、・・・・した透析患者の1例

吉田 充¹、富永真弓²、岡 始³、・・・・・・・・

大阪透析病院泌尿器科¹、同 外科²、日本診療所看護部³、・・・・

症例。58 歳男性。・・・・を目的として来院、入院した。既往歴に虫垂切除術（35 歳）
がある・・・・・・・・
その後、・・・・・・・・・・軽快した。

考案：本症例は・・・・・・・・・・。一方、・・・・と・・・・
との合併例は・・・・・・・・

結論：・・・・・・・・

3. 用語

用語は、原則として当用漢字と現代仮名使いを使用し、以下のものは下記のように統一する。
送り仮名

① 行(な)う → 行う

② ひらがなを使用

- | | |
|-------------------|------------------------|
| (1) 尚 → なお | (2) ～にも拘わらず → ～にもかかわらず |
| (3) 我が国 → わが国 | (4) 我々 → われわれ |
| (5) 又 → また | (6) 私達 → 私たち |
| (7) 更に → さらに | (8) 1年毎の → 1年ごとの |
| (9) 及び → および | (10) 如く → ごとく |
| (11) 益々 → ますます | (12) ～が見られない → ～がみられない |
| (13) 占める → しめる | (14) 出来る様に → できるように |
| (15) ～と共に → ～とともに | (16) それ故 → それゆえ |
| (17) ～等 → ～など | |

③ 漢字を使用

- | | |
|---------------------|------------------|
| (1) とくに → 特に | (2) したがって → 従って |
| (3) はじめての～ → 初めての～ | (4) はじめから → 始めから |
| (5) ～がえられる → ～が得られる | |

④ 読点を挿入

しかし、また、従って、特に、一方、

⑤ その他

(1) 年令 → 年齢 ～才 → ～歳

(2) から、より、よって、の使用：

場所や時間は「から」を用いる。「より」の使用は比較の場合のみとする。

理由や手段は「～によって」と記載する。